科目名	小児看護と看護技術【看護技術】	対象学年・時期	2年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間（内15時間）
講義概要	ディプロマポリシー2に基づく。小児は発達段階が未熟であるが故に命を自ら守ることが難しい。そのため看護師には小児の身体の特徴を理解した上で症状に対しての判断や対応が望まれる。よって小児看護では小児のフィジカルアセスメント、発達段階に応じた様々な状況下における看護技術を習得する必要がある。また、物事の理解が十分できない小児にとって治療や看護は侵襲的なものも多い。当科目では小児の心身にかかる侵襲を少しでも軽減するための小児看護技術を習得できるようにする。更に、看護実践に至るまでの思考力を養いながら、小児の看護技術の実際を学ぶ。		
講義形態	講義・演習		
学習目標	１．子どもの身体の特徴を踏まえた、観察方法がわかる。 ２．発達段階に応じた遊びや学習支援の必要性が分かる。 ３．小児に必要な看護技術が修得できる。		
学習内容 (授業計画)	授業内容	事前・事後学習	
	１回目～３回目：事例に応じた看護過程の展開	事前・事後学習：看護過程の基礎的	
	４回目：フィジカルアセスメント演習（呼吸困難、発熱）	事前学習：子どもの身体的特徴	
	５回目：安心・安全な環境を調整する技術演習 １）発達段階に応じた環境づくり（遊びや学習支援）	事前学習：プレパレーションの実際	
	６回目：救急処置が必要な子どもと家族の看護 １）誤飲・誤嚥 ２）溺水 ３）熱傷 ４）心肺蘇生 ５）家族の不安と緩和		
	７回目：小児看護技術演習 １）点滴固定 ２）臀部浴 ３）吸入 ４）採血介助		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ　小児看護学② 小児看護技術		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	内容については「学習内容」を参照してください。 事前学習については、指定日まで各教員に提出してください。		
評価基準と 評価方法	筆記試験		
備考			